

講 義 概 要
Syllabus

令和 7 年度
(2 0 2 5 年度)

国際科
2 年次

熊本外語専門学校

科目名	ビジネス英語Ⅱ	国際科	2年通年
講師	Ola Yasui	講義	水曜 2 限
実務経験のある教員等による指導		2単位 32時間	全32回
科目概要	本講座では、ホテル業務における基本的な英語対応スキルを学びます。チェックイン・チェックアウト対応、予約受付、ゲスト対応、苦情処理、レストランやバーでの接客、ハウスキーピングの指示、ルームサービスなど、宿泊施設で必要となる実践的な英語表現を習得します。実際の業務を想定したロールプレイや演習を通じて、ゲストとの円滑なコミュニケーション能力を身につけることを目指します。		
到達目標	1.基本的なホテル英会話の習得:チェックイン・チェックアウトや予約対応など、宿泊施設での基本的な英語表現を身につける。2.ゲスト対応のスキル向上:ゲストの要望を正確に理解し、適切に対応できる能力を養う。3.ラブル対応力の向上:苦情や問題発生時の適切な対応方法を学び、実践できるようにする。4.業務ごとの実践的スキルの強化:レストラン、バー、ハウスキーピング、ルームサービスなど、各業務で求められる英語対応スキルを身につける。5.円滑なコミュニケーションの確立:正確かつ丁寧な英語表現を習得し、ゲストとの良好な関係を築く。		
授業計画			
1	第1章 ゲストの迎え方: ゲストのチェックイン方法、モーニングコールや新聞の希望を尋ねる方法、ホテルの食事時間を案内する方法を学ぶ。ページ・Page 6~9		
2	第2章 予約なしのゲストの迎え方: 予約なしのゲストをチェックインする方法、登録フォームの記入を依頼する方法、丁寧に「ノー」と伝える方法を学ぶ。ページ・Page 10~13		
3	第3章 「対応が難しい」ゲスト: チェックイン時間の説明方法、早く到着したゲストへの対応方法、丁寧な提案の仕方を学ぶ。ページ・Page 14~17		
4	第4章 ゲストの対応 (1) : ゲストに情報を提供する方法、目的地への行き方を案内する方法、分かりやすく説明する方法を学ぶ。ページ・Page 18~21		
5	第5章 ゲストの対応 (2) : ゲストのためにタクシーを手配する方法、ホテル内の設備について案内する方法、ゲストの要望に応じる方法を学ぶ。ページ・Page 22~25		
6	第6章 予約の問い合わせ: 予約の問い合わせに対応する方法、予約を希望する人の詳細を聞き取る方法、クレジットカード情報を受け取る方法を学ぶ。ページ・Page 26~29		
7	復習 #1 ページ・Page 6~29		
8	第7章 予約の変更: 予約の変更、キャンセル、キャンセルの確認方法を学ぶ。ページ・Page 30~33		
9	第8章 フロントの電話対応: 別の部署へ電話を転送する方法、ゲストの問題に対応する方法、ゲストの部屋へ電話を転送する方法を学ぶ。ページ・Page 34~37		
10	第9章 コミュニケーションの問題: コミュニケーションの問題への対応方法、聞き取りにくい場合の情報確認方法、相手に正確に情報を伝える方法を学ぶ。ページ・Page 38~41		
11	第10章 ゲストからの苦情対応: ゲストからの苦情に対応する方法、問題を解決する方法、別の部屋へ案内する方法を学ぶ。ページ・Page 42~45		
12	第11章 朝食時の対応: ゲストに施設の場所を案内する方法、朝食メニューの選択肢を提示する方法、朝食の注文を取る方法を学ぶ。ページ・Page 46~49		
13	第12章 バーでの対応: ドリンクの注文を取る方法、おすすめのドリンクを紹介する方法、支払いの対応方法を学ぶ。ページ・Page 50~53		
14	第13章 バーでの苦情対応: 間違った料理や飲み物の注文について謝罪する方法、請求書の料金を説明する方法を学ぶ。ページ・Page 54~57		
15	第14章 レストランでの対応 (1) : レストランでゲストを迎える方法、メニューやワインリストを渡す方法、ドリンクを提供する方法を学ぶ。ページ・Page 58~61		
16	定期試験FB		
17	第15章 レストランでの対応 (2) : 料理の注文を取る方法、メニューの説明方法、ゲストが選びやすいようにサポートする方法を学ぶ。ページ・Page 62~65		
18	第16章 レストランでの対応 (3) : デザートやコーヒーを提供する方法、会計時の対応方法、支払い処理を行う方法を学ぶ。ページ・Page 66~69		
19	第17章 ハウスキーピング (1) : 新しいスタッフに指示を出す方法、メイドにホテルのルールを説明する方法、スタッフの質問に答える方法を学ぶ。ページ・Page 70~73		
20	第18章 ハウスキーピング (2) : ゲストのリクエストや苦情に対応する方法、清掃の問題を解決する方法、ゲストの希望に応じて後で戻ることを伝える方法を学ぶ。ページ・Page 74~77		
21	Revision # 3 / 復習 #3 ページ・Page 57~77		
22	第19章 ルームサービス: ルームサービスの注文を取る方法、配達時間を確認する方法、ルームサービスを届ける方法を学ぶ。ページ・Page 78~81		
23	第20章 ゲストサービス: ゲストのために物を手配する方法、予約を代行する方法、情報を確認する方法を学ぶ。ページ・Page 82~85		
24	第21章 ビジネスセンターでの対応: ゲストが利用できるサービスを説明する方法、ゲストに設備を提供する方法、ホテルのサービス情報を伝える方法を学ぶ。ページ・Page 86~89		
25	第22章 レストランの推薦: レストランを推薦する方法、ゲストの希望に合うレストランを比較する方法、食事の満足度を尋ねる方法を学ぶ。ページ・Page 90~93		
26	第23章 チェックアウト対応: ゲストのチェックアウト対応方法、請求書を準備する方法、ゲストに丁寧に別れの挨拶をする方法を学ぶ。ページ・Page 94~97		
27	第24章 チェックアウト時の問題対応: 請求書の間違いへの対応方法、謝罪の方法、ゲストがまた戻ってきたくなるような親切な対応を学ぶ。ページ・Page 98~101		
28	最終復習 ページ・Page 6~101		
29	最終復習 ページ・Page 6~101		
30	定期試験FB		
31	Activities		
32	活動		
成績評価方法	前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90％、出席率を10％として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100％（60％以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90％未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。		
教科書名	Hotel and Hospitality English (Collins English for Work)		

科目名		基礎英語	国際科	2年通年
講師		石川 貴美子	講義	水曜 5 限
実務経験のある教員等 による指導			2 単位 32時間	全32回
科目概要		英語の基礎力となる文法の基礎知識を初歩からしっかりと固める。2年生なので、テキストは、最後の関係詞・仮定法まで学習予定。		
到達目標		文法を学習する際、テキストには基本の英文が音声で聞けるので、「聞く」「話す」「書く」力まで、広げて英語の基礎力をつける。		
授業計画				
1	自己紹介			
2	Be 動詞			
3	一般動詞			
4	Be 動詞・一般動詞の疑問文・否定文の作り方			
5	Unit1とUnit 2 の英文例を覚える。 関連の問題演習			
6	Unit3 疑問詞 を使った表現 文構造の学習			
7	Unit 4 過去形 Be 動詞と一般動詞・進行形の過去の表現			
8	Unit 5 未来形			
9	Unit 6 現在完了 完了・結果			
10	現在完了 経験・継続			
11	Unit 1 からUnit 6 までの時制の復習			
12	中間テスト 時制範囲			
13	Unit 7 助動詞			
14	授業or課題			
15	授業or課題			
16	定期試験FB			
17	Unit 8 名詞・冠詞 可算名詞・不可算名詞 単数・複数 (日本語との違い)			
18	Unit 9 受動態			
19	受動態の作り方の練習問題			
20	Unit10 前置詞 時間・空間の捉え方 色々な前置詞			
21	Unit11 形容詞・副詞 品詞の違い			
22	Unit12 比較 問題演習			
23	Unit13 不定詞・動名詞			
24	Unit14 接続詞 ・命令文			
25	Unit15 関係詞			
26	問題演習			
27	Unit16 仮定法			
28	問題演習			
29	Review			
30	Review			
31	定期試験FB			
32	活動			
成績評価方法		前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90％、出席率を10％として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100％（60％以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90％未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したことを認める。		
教科書名		総合力をみがく基礎英文法		

科目名	ビジネスマナーⅡ	国際科	2年通年
講師	岸 治枝	講義	木曜2限
実務経験のある教員等 による指導		2単位 32時間	全32回
科目概要	基礎的なマナーの知識を応用し、実践的なスキルと柔軟な対応力を養う。リアルなビジネスシーンを想定した実践練習を多く取り入れる。		
到達目標	実際のビジネスシーンで日本人と自然なコミュニケーションができる。		
授業計画			
1	【ビジネスコミュニケーション】1-1 日本人と働く心がまえ		
2	【ビジネスコミュニケーション】1-2 上司・先輩との付き合い方		
3	【ビジネスコミュニケーション】1-3 同僚との付き合い方		
4	【ビジネスコミュニケーション】1-6 チームワーク復習／同僚との意見の調整ロールプレイ		
5	【ビジネスコミュニケーション】1-7 配慮のある話し方		
6	【ビジネスコミュニケーション】1-7 配慮のある話し方復習／上司への依頼ロールプレイ		
7	【ビジネスのルール】2-6 報・連・相復習／ロールプレイ「上司への報告・相談」		
8	【社内のマナー】3-2 上司・先輩との付き合い方復習／指示の受け方、確認の仕方ロールプレイ		
9	【社内のマナー】3-4 退社時のマナー復習／ロールプレイ		
10	【社外のマナー】4-3 仕事に役立つ雑談復習／ロールプレイ「木戸に立てかけし衣食住」で考える雑談		
11	【社外のマナー】4-4 場所ごとの席次復習／ロールプレイ「会議室、応接室、エレベーター、タクシー」		
12	【社外のマナー】4-5.6 案内と見送り・訪問復習／ロールプレイ「案内する側、される側」		
13	【社外のマナー】5-1 敬語の使い方復習／ロールプレイ		
14	テスト前の総復習①		
15	テスト前の総復習②		
16	定期試験FB		
17	【社外のマナー】5-3 漢字の使い方		
18	インターンシップ前の実践練習「名刺交換・お辞儀復習・遅刻欠勤時の連絡、席次など」		
19	【社外のマナー】5-4 ビジネスメールの形式		
20	ビジネスメールの練習		
21	【社外のマナー】5-5 ビジネス文書の形式		
22	ビジネス文書の練習		
23	就職活動の面接時のマナー		
24	【社外のマナー】5-6 はがきと封筒の使い方・書き方		
25	電話対応ロールプレイ「取引先への電話対応」		
26	電話対応ロールプレイ「お客様からの電話対応」		
27	電話対応ケーススタディ		
28	テスト前の総復習①		
29	テスト前の総復習②		
30	定期試験FB		
31	会議でのマナー、発言の仕方		
32	活動		
成績評価方法	前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々的小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100%（60%以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。		
教科書名	『留学生・日本で働く人のためのビジネスマナーとルール』（日本能率協会ビジネスマネジメントセンター）		

科目名		異文化コミュニケーションⅡ	国際科	2年通年
講師		鍋田 さゆり・上野 綾子	講義	月曜3限
実務経験のある教員等 による指導			2単位 32時間	全29回
科目概要		異文化理解の基礎／コミュニケーション理論／実践的スキルの育成		
到達目標		異文化への理解を深め、柔軟で効果的なコミュニケーション能力を養う。		
授業計画				
1	オリエンテーション・自己紹介			
2	日本の食文化を知る①			
3	日本の食文化を知る②			
4	日本の食文化を知る③			
5	和菓子制作を体験する			
6	自国の食文化を説明する①			
7	自国の食文化を説明する②			
8	日本の風習を知る①			
9	みそ玉制作を体験する			
10	日本の風習を知る②			
11	日本の風習を知る③			
12	水引制作を体験する			
13	まとめ			
14	スピーチ			
15	まとめ・テスト対策			
16	定期試験FB			
17	茶道を体験する			
18	日本の風習を知る④			
19	日本の風習を知る⑤			
20	いきなり団子制作を体験する			
21	自国の風習・文化を説明する①			
22	自国の風習・文化を説明する②			
23	自国の風習・文化を説明する③			
24	スピーチ			
25	クリスマスケーキ制作を体験する			
26	まとめ・テスト対策			
27	定期試験FB			
28	まとめ			
29	まとめ			
成績評価方法		前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90％、出席率を10％として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100％（60％以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90％未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。		
教科書名		『日本のことを1分間英語で話してみる』（KADOKAWA）		

科目名	キャリアデザインⅡ	国際科	2年前期
講師	上野 綾子	講義	金曜 6 限
実務経験のある教員等 による指導		1単位 16時間	全16回
科目概要	個別指導によりそれぞれの将来像の実現を目指す。		
到達目標	それぞれが思い描く将来像の実現を目指す。		
授業計画			
1	企業について知る 春休みの宿題 企業研究		
2	企業について知る 春休みの宿題 企業研究		
3	志望動機の作成仕方		
4	企業での働き方を知ろう		
5	面接練習 ヤングハローワークの方個別面談		
6	面接練習 ヤングハローワークの方個別面談		
7	面接練習 ヤングハローワークの方個別面談		
8	面接練習 ヤングハローワークの方個別面談		
9	「報・連・総」①		
10	「報・連・総」②		
11	ケーススタディ①		
12	ケーススタディ①		
13	ケーススタディ②		
14	ケーススタディ②		
15	復習		
16	定期試験FB		
成績評価方法	前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評価は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評価する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100%（60%以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。		
教科書名	『解いて学ぼう 留学生の就職活動』（株式会社スリーエーネットワーク） 『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力 日本で働くための「4つの能力」養成ワークブック』（国書刊行会）		

科目名	プレゼンテーションⅡ		国際科	2年通年
講師	鋤農 美智子		講義	火曜 5 限
実務経験のある教員等 による指導			2単位 32時間	全31回
科目概要	昨年学んだプレゼンテーションの授業をもとに、効率的な作業計画を立て、テーマに沿った原稿に関する日本語学習、PC操作方法など、応用的な学習をする。			
到達目標	テーマに沿った原稿作成においての日本語学習、聴衆に訴えかける効果的なスライド作成、発表の態度なども工夫することができる。			
授業計画				
1	プレゼンテーション導入（今年度の目標と実施方法など）			
2	自己PRの発表の重要なポイント、原稿作成			
3	自己PRの練習（ペアでお互い計測しながら練習、FB）、評価シートの説明			
4	自己PRの発表（全員で互いに評価する）			
5	テーマ「私の夢」（計画表作成、原稿作成）			
6	テーマ「私の夢」（原稿作成）			
7	テーマ「私の夢」（原稿作成）			
8	テーマ「私の夢」（原稿作成）			
9	テーマ「私の夢」（スライド作成）			
10	テーマ「私の夢」（スライド作成）			
11	テーマ「私の夢」（スライド作成、修正、練習）			
12	テーマ「私の夢」（スライド修正、練習）			
13	テーマ「私の夢」（9名発表、評価）			
14	テーマ「私の夢」（9名発表、評価）			
15	定期試験FB			
16	テーマ「My Life In KUMAMOTO」テーマ決め、計画表作成			
17	テーマ「My Life In KUMAMOTO」原稿作成			
18	テーマ「My Life In KUMAMOTO」原稿作成			
19	テーマ「My Life In KUMAMOTO」スライド作成			
20	テーマ「My Life In KUMAMOTO」スライド作成			
21	テーマ「My Life In KUMAMOTO」スライド作成			
22	テーマ「My Life In KUMAMOTO」発表練習（ピア活動）			
23	テーマ「My Life In KUMAMOTO」発表練習（ピア活動）			
24	テーマ「My Life In KUMAMOTO」発表練習（ピア活動・時間計測）			
25	プレゼン大会の予定により変更有			
26	プレゼン大会の予定により変更有			
27	プレゼン大会の予定により変更有			
28	復習			
29	定期試験FB			
30	「2年間の思い出」原稿作成			
31	活動			
成績評価方法	前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100%（60%以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。			
教科書名	—			

科目名	PCスキルⅡ	国際科	2年通年
講師	恒松 宏美	講義	水曜 1 限
実務経験のある教員等 による指導	職業訓練校で社会人求職者を対象に主にWord、Excelの実技指導した経験を活かして、初心者から経験者まで受講者のレベルに合わせた指導と個別指導を徹底する。	4 単位 64時間	全32回
科目概要	日本情報処理検定受験対策を目的とした授業で、過去問題を解きながら、Word、Excel、PowewPointのスキルアップを目指します。		
到達目標	各科目で 2 級合格を目標とし、就職活動に活かせるパソコンスキルを修得します。		
授業計画			
1	Teams登録、使用方法、チャットしよう		
2	就職に役立つ検定紹介（秘書検定、サービス接遇検定、ビジネス実務検定案内）		
3	就職に役立つ検定紹介（漢字検定、TOEICのWEB申込）		
4	就職に役立つ検定紹介（日本情報処理検定案内）		
5	就職に役立つ検定紹介（日本情報処理検定申込）		
6	表計算4級		
7	表計算4級		
8	表計算3級		
9	表計算3級		
10	表計算3級		
11	表計算2級		
12	表計算2級		
13	前期復習		
14	課題		
15	課題		
16	定期試験FB		
17	就職に役立つ検定紹介（MOS検定）		
18	文書デザイン検定2級		
19	文書デザイン検定2級		
20	文書デザイン検定2級		
21	文書デザイン検定2級		
22	文書デザイン検定2級		
23	日本語ワープロ検定2級		
24	日本語ワープロ検定2級		
25	日本語ワープロ検定2級		
26	日本語ワープロ検定2級		
27	日本語ワープロ検定2級		
28	日本語ワープロ検定2級		
29	後期復習		
30	定期試験FB		
31	就職に役立つ検定紹介（MOS検定）		
32	活動		
成績評価方法	前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100％（60%以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。		
教科書名	プリント		

科目名	PCスキルⅡ	国際科	2年通年
講師	恒松 宏美	講義	木曜 1 限
実務経験のある教員等 による指導	職業訓練校で社会人求職者を対象に主にWord、Excelの実技指導した経験を活かして、初心者から経験者まで受講者のレベルに合わせた指導と個別指導を徹底する。	4 単位 64時間	全32回
科目概要	2年次では、基本的な操作、ショートカットキー、フォルダ管理を身につけます。日本語を用いてWord、Excel、Power Point、メールなどの作業ができるようになることを目標とする。		
到達目標	Windowsでは、基本操作ができるようになる。Excelではデータ入力、表の作成、関数、グラフ作成ができるようになる。		
授業計画			
1	フォルダ管理、整理		
2	テキストP101 Chapter5 Excelの概要、起動、画面構成		
3	Chapter6 作成するブックを確認する、新しいブックを作成、データを入力する		
4	オートフィルを利用する、P129練習問題		
5	Chapter7 作成するブックを確認する、関数を入力する		
6	セルを参照する、表の書式を設定する		
7	表の行や列を操作する、表を印刷する		
8	P155練習問題、P303総合問題4		
9	Chapter8 作成するグラフを確認する、グラフ機能の概要、円グラフを作成する		
10	縦棒グラフを作成する		
11	縦棒グラフを作成する		
12	P181練習問題		
13	P303総合問題5		
14	前期復習		
15	課題		
16	課題		
17	定期試験FB		
18	P265 練習問題		
19	P307 総合問題7		
20	P309 総合問題8		
21	P267 Chapter13 Step1 Excelの表をWordの文書に貼り付ける		
22	P311 総合問題9		
23	P285 Step3 Wordの文書をPowerPointのプレゼンテーションで利用する		
24	〃		
25	〃		
26	P313 総合問題10		
27	後期復習		
28	後期復習		
29	後期復習		
30	定期試験FB		
31	表彰（成績、検定取得等）		
32	活動		
成績評価方法	前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100%（60%以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。		
教科書名	『よくわかる Microsoft Word 2016 & Microsoft Excel 2016 & Microsoft PowerPoint 2016 <改訂版>』（FOM出版）		

科目名	実践コミュニケーション		国際科	2年通年
講師	上野 綾子		講義	月曜 4 限
実務経験のある教員等 による指導			2単位 32時間	全29回
科目概要	働く際に人とどのように接するべきか、人との距離の取り方などを学び、上手くコミュニケーションができるようになることを目標とする。			
到達目標	フィールドワークやインタビューなどを通じて上手くコミュニケーションがとれるようになるだけでなく、同じ目標を持ってグループで一つの作品を作ることができる。			
授業計画				
1	CM制作の説明 CM制作のためのインタビュー準備（グループで実施）			
2	CM制作のためのインタビュー準備			
3	CM制作のためのインタビュー準備			
4	インタビュー実施			
5	CM制作 CMの方向性の決定 動画の作り方①			
6	CM制作 CMの方向性の決定 動画の作り方②	学校VTR制作	グループ分け	構成を考える①
7	CM制作	学校VTR制作	構成を考える②	
8	CM制作	学校VTR制作	インタビュー準備	素材集め
9	CM制作	学校VTR制作	インタビュー準備	
10	CM制作	学校VTR制作	インタビュー実施→振り返り	
11	CM制作	学校VTR制作	素材集め	
12	CM制作	学校VTR制作	素材集め	
13	CM制作			
14	CM作成 発表練習・リハーサル			
15	定期試験FB 発表練習			
16	CM発表			
17	学校VTR制作 中間発表→FB 今後の課題			
18	学校VTR制作	インタビュー準備	素材集め	編集
19	学校VTR制作	インタビュー準備	素材集め	編集
20	学校VTR制作	インタビュー実施→振り返り	素材集め	編集
21	学校VTR制作	インタビューまとめ		
22	学校VTR制作	素材集め	編集	
23	学校VTR制作	素材集め	編集	
24	学校VTR制作	編集		
25	学校VTR制作	編集		
26	学校VTR制作	最終確認		
27	定期試験FB 発表練習			
28	学校VTR発表			
29	活動			
成績評価方法	前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100%（60%以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。			
教科書名	自作教材を使用			

科目名		総合日本語	国際科	2年通年
講師		鉦農 美智子	講義	月曜 2 限
実務経験のある教員等 による指導			8単位 128時間	全29回
科目概要		四技能（読む、聞く、書く、話す）を総合的に学習し、さらなる日本語力の向上につなげる。 四技能を全体的に向上させることを目標とする。		
到達目標		中級から中上級レベルの四技能（読む、聞く、書く、話す）を全体的に向上させることを目標とする。		
授業計画				
1	1. 風呂敷			
2	1. 風呂敷			
3	2. 目の錯覚			
4	2. 目の錯覚			
5	3. 出前はどんなときに何を？			
6	3. 出前はどんなときに何を？			
7	4. 小さなお金の大きな働き			
8	4. 小さなお金の大きな働き			
9	5. ライオンですか、犬ですか			
10	5. ライオンですか、犬ですか			
11	6. 世界でいちばん早く朝が来る国			
12	6. 世界でいちばん早く朝が来る国			
13	7. 子どもの耳			
14	定期試験前復習			
15	定期試験FB			
16	8. 日本人の名字			
17	8. 日本人の名字			
18	9. 100円ショップ			
19	9. 100円ショップ			
20	10. 便利？不便？電子メール			
21	10. 便利？不便？電子メール			
22	11. じゃんけん			
23	11. じゃんけん			
24	12. あいさつの思わぬ効果			
25	12. あいさつの思わぬ効果			
26	定期試験前復習			
27	定期試験FB			
28	ディクテーションなど			
29	活動			
成績評価方法		前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100%（60%以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。		
教科書名		「毎日の聞きとり Plus40 上巻」（（株）凡人社）		

科目名	総合日本語	国際科	2年通年
講師	松本 真夕	講義	火曜2限
実務経験のある教員等 による指導		8単位 128時間	全31回
科目概要	四技能（読む、聞く、書く、話す）を総合的に学習し、さらなる日本語力の向上につなげる。四技能を全体的に向上させることを目標とする。		
到達目標	中級から中上級レベルの四技能（読む、聞く、書く、話す）を全体的に向上させることを目標とする。		
授業計画			
1	Chapter2 Section2お金		
2	Chapter2 Section2お金		
3	Chapter2 Section3食事		
4	Chapter2 Section3食事		
5	Chapter2 Section4買い物		
6	Chapter2 Section4買い物		
7	Chapter2 Section5時を表す言葉		
8	Chapter2 Section5時を表す言葉		
9	Chapter3 Section1朝		
10	Chapter3 Section1朝		
11	Chapter3 Section2日課		
12	Chapter3 Section2日課		
13	試験前復習		
14	定期試験FB		
15	Chapter3 Section3料理		
16	Chapter3 Section3料理		
17	Chapter3 Section4家事		
18	Chapter3 Section4家事		
19	Chapter3 Section5引越し		
20	Chapter3 Section5引越し		
21	Chapter4Section1町		
22	Chapter4Section1町		
23	Chapter4Section2役所		
24	Chapter4Section2役所		
25	Chapter4Section3ふるさと		
26	Chapter4Section3ふるさと		
27	試験前復習		
28	定期試験FB		
29	1年間のまとめ		
30	1年間のまとめ		
31	活動		
成績評価方法	前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々的小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100%（60%以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。		
教科書名	はじめての日本語能力試験N2単語 2 5 0 0		

科目名	総合日本語		国際科	2年通年
講師	永村 洋藤		講義	火曜 2 限
実務経験のある教員等 による指導			8単位 128時間	全31回
科目概要	四技能（読む、聞く、書く、話す）を総合的に学習し、さらなる日本語力の向上につなげる。四技能を全体的に向上させることを目標とする。			
到達目標	中級から中上級レベルの四技能（読む、聞く、書く、話す）を全体的に向上させることを目標とする。			
授業計画				
1	Chapter1 Section1			
2	Chapter1 Section2			
3	Chapter1 Section3			
4	Chapter1 Section4			
5	Chapter1 Section5			
6	Chapter2 Section1			
7	Chapter2 Section2			
8	Chapter2 Section3			
9	Chapter2 Section4			
10	Chapter2 Section5			
11	Chapter3 Section1			
12	Chapter3 Section2			
13	Chapter3 Section3			
14	定期試験FB			
15	Chapter3 Section4			
16	Chapter3 Section5			
17	Chapter4 Section1			
18	Chapter4 Section2			
19	Chapter4 Section3			
20	Chapter4 Section4			
21	Chapter4 Section5			
22	Chapter5 Section1			
23	Chapter5 Section2			
24	Chapter5 Section3			
25	Chapter5 Section4			
26	Chapter5 Section5			
27	Chapter6 Section1			
28	定期試験FB			
29	Chapter6 Section2			
30	Chapter6 Section3			
31	活動			
成績評価方法	前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100％（60%以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。			
教科書名	はじめての日本語能力試験N1単語 3 0 0 0			

科目名	総合日本語		国際科	2年通年
講師	吉村 萌		講義	火曜4限
実務経験のある教員等 による指導			8単位 128時間	全31回
科目概要	四技能（読む、聞く、書く、話す）を総合的に学習し、さらなる日本語力の向上につなげる。 四技能を全体的に向上させることを目標とする。			
到達目標	中級から中上級レベルの四技能（読む、聞く、書く、話す）を全体的に向上させることを目標とする。			
授業計画				
1	N1：「読む力[中級]」1－① N2：「読む力[初中級]」1－①（10課続き）			
2	N1：「読む力[中級]」1－② N2：「読む力[初中級]」1－②			
3	N1：「読む力[中級]」2－① N2：「読む力[初中級]」2－①			
4	N1：「読む力[中級]」2－② N2：「読む力[初中級]」2－②			
5	N1：「読む力[中級]」1・2まとめ N2：「読む力[初中級]」1・2まとめ			
6	N1：「読む力[中級]」3－① N2：「読む力[初中級]」3－①			
7	N1：「読む力[中級]」3－② N2：「読む力[初中級]」3－②			
8	N1：「読む力[中級]」4－① N2：「読む力[初中級]」4－①			
9	N1：「読む力[中級]」4－② N2：「読む力[初中級]」4－②			
10	N1：「読む力[中級]」3・4まとめ N2：「読む力[初中級]」3・4まとめ			
11	N1：「読解厳選テーマ10[中上級]」1－① N2：「読解厳選テーマ10[中級]」1－①			
12	N1：「読解厳選テーマ10[中上級]」1－② N3：「読解厳選テーマ10[中級]」1－②			
13	N1：「読解厳選テーマ10[中上級]」1－③、復習 N3：「読解厳選テーマ10[中級]」1－③、復習			
14	定期試験FB			
15	いろいろな読みものを読もう①			
16	N1：「読む力[中級]」5－① N2：「読む力[初中級]」5－①			
17	N1：「読む力[中級]」5－② N2：「読む力[初中級]」5－②			
18	N1：「読む力[中級]」6－① N2：「読む力[初中級]」6－①			
19	N1：「読む力[中級]」6－② N2：「読む力[初中級]」6－②			
20	N1：「読む力[中級]」5・6まとめ N2：「読む力[初中級]」5・6まとめ			
21	N1：「読解厳選テーマ10[中上級]」2－① N2：「読解厳選テーマ10[中級]」2－①			
22	N1：「読解厳選テーマ10[中上級]」2－② N2：「読解厳選テーマ10[中級]」2－②			
23	N1：「読解厳選テーマ10[中上級]」3－① N2：「読解厳選テーマ10[中級]」3－①			
24	N1：「読解厳選テーマ10[中上級]」3－② N2：「読解厳選テーマ10[中級]」3－②			
25	N1：「読解厳選テーマ10[中上級]」2・3まとめ N2：「読解厳選テーマ10[中級]」2・3まとめ			
26	N1：「読解厳選テーマ10[中上級]」4－① N2：「読解厳選テーマ10[中級]」4－①			
27	N1：「読解厳選テーマ10[中上級]」4－②、復習 N2：「読解厳選テーマ10[中級]」4－②、復習			
28	定期試験FB			
29	いろいろな読みものを読もう②			
30	いろいろな読みものを読もう③			
31	活動			
成績評価方法	前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100%（60%以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。			
教科書名	『読解厳選テーマ10[中上級]』（凡人社）、『読む力 中級』（くろしお出版） 『読解厳選テーマ10[中級]』（凡人社）、『読む力 初中級』（くろしお出版）			

科目名		総合日本語		国際科	2 年通年
講師		木村 範子		講義	火曜 4 限
実務経験のある教員等 による指導				8単位 128時間	全31回
科目概要		四技能（読む、聞く、書く、話す）を総合的に学習し、さらなる日本語力の向上につなげる。四技能を全体的に向上させることを目標とする。（火曜4限では、多様な話題を読み、文法知識や語彙の力を鍛え、文意を正しく理解する力を高める。）			
到達目標		中級から中上級レベルの四技能（読む、聞く、書く、話す）を全体的に向上させることを目標とする。			
授業計画					
1	必ずできる！ J L P T 「読解」 N 3 ウォーミングアップ①②				
2	必ずできる！ J L P T 「読解」 N 3 ウォーミングアップ③④⑤				
3	必ずできる！ J L P T 「読解」 N 3 ウォーミングアップ⑥⑦⑧				
4	必ずできる！ J L P T 「読解」 N 3 練習問題 1, 2				
5	必ずできる！ J L P T 「読解」 N 3 練習問題 3, 4				
6	必ずできる！ J L P T 「読解」 N 3 練習問題 5, 6				
7	必ずできる！ J L P T 「読解」 N 3 練習問題 7, 8				
8	必ずできる！ J L P T 「読解」 N 3 練習問題 9, 10				
9	必ずできる！ J L P T 「読解」 N 3 練習問題 13, 14, 15 の問題 1				
10	必ずできる！ J L P T 「読解」 N 3 読解模擬試験問題				
11	復習				
12	復習				
13	復習				
14	定期試験FB				
15	読解厳選テーマ 25 + 10 初中級 1 - 25				
16	読解厳選テーマ 25 + 10 初中級 2 - 01				
17	読解厳選テーマ 25 + 10 初中級 2 - 02				
18	読解厳選テーマ 25 + 10 初中級 2 - 03				
19	読解厳選テーマ 25 + 10 初中級 2 - 04				
20	読解厳選テーマ 25 + 10 初中級 2 - 05				
21	読解厳選テーマ 25 + 10 初中級 2 - 06				
22	必ずできる！ J L P T 「読解」 N 3 練習問題 11				
23	必ずできる！ J L P T 「読解」 N 3 練習問題 12				
24	必ずできる！ J L P T 「読解」 N 3 読解模擬試験問題				
25	必ずできる！ J L P T 「読解」 N 3 練習問題 13				
26	復習				
27	復習				
28	定期試験FB				
29	必ずできる！ J L P T 「読解」 N 3 練習問題 14				
30	活動				
31	活動				
成績評価方法		前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100%（60%以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。			
教科書名		「必ずできる！ J L P T 『読解』 N 3」 「読解厳選テーマ 25 + 10 初中級」			

科目名	総合日本語		国際科	2年通年
講師	上野 綾子		講義	金曜1限
実務経験のある教員等 による指導			8単位 128時間	全31回
科目概要	四技能（読む、聞く、書く、話す）を総合的に学習し、さらなる日本語力の向上につなげる。四技能を全体的に向上させることを目標とする。			
到達目標	中級から中上級レベルの四技能（読む、聞く、書く、話す）を全体的に向上させることを目標とする。			
授業計画				
1	第4課 重要な文型と表現1、2 復習			
2	第4課 重要な文型と表現3、4			
3	問題集FB			
4	第5課 重要な文型と表現1、2			
5	第5課 重要な文型と表現3、4、5			
6	問題集FB			
7	第6課 重要な表現と文型1、2			
8	第6課 重要な表現と文型3、4			
9	問題集FB			
10	第4課～第6課 復習 文作確認			
11	第7課 重要な文型と表現1、2			
12	第7課 重要な文型と表現3、4			
13	問題集FB			
14	総復習			
15	定期試験FB			
16	まとめ			
17	第8課 重要な文型と表現1、2			
18	第8課 重要な文型と表現3、4			
19	問題集FB			
20	第9課 重要な文型と表現1、2			
21	第9課 重要な文型と表現3、4、5			
22	問題集FB			
23	第8課、9課復習			
24	第10課 重要な文型と表現1、2			
25	第10課 重要な文型と表現3、4			
26	問題集FB			
27	第11課の文法に触れる			
28	総復習			
29	定期試験FB			
30	活動			
31	活動			
成績評価方法	前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90％、出席率を10％として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100％（60％以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90％未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。			
教科書名	『学ぼう！にほんご 中上級』（専門教育出版）			

科目名	総合日本語	国際科	2年通年
講師	吉村 萌	講義	金曜1限
実務経験のある教員等 による指導		8単位 128時間	全31回
科目概要	四技能（読む、聞く、書く、話す）を総合的に学習し、さらなる日本語力の向上につなげる。 四技能を全体的に向上させることを目標とする。		
到達目標	中級から中上級レベルの四技能（読む、聞く、書く、話す）を全体的に向上させることを目標とする。		
授業計画			
1	第25課 重要な文型と表現③・④		
2	第26課 重要な文型と表現①～④		
3	復習		
4	第27課 重要な文型と表現①・④		
5	第27課 重要な文型と表現②・③		
6	第28課 重要な文型と表現①・②		
7	第28課 重要な文型と表現③・④		
8	復習		
9	第29課 重要な文型と表現①・③		
10	第29課 重要な文型と表現②・④		
11	第30課 重要な文型と表現①・④		
12	第30課 重要な文型と表現②・③		
13	復習		
14	テスト前復習		
15	定期試験FB		
16	活動		
17	第31課 重要な文型と表現①・②		
18	第31課 重要な文型と表現③・④		
19	第32課 重要な文型と表現①・④		
20	第32課 重要な文型と表現②・③		
21	復習		
22	第33課 重要な文型と表現①・②		
23	第33課 重要な文型と表現③・④		
24	第34課 重要な文型と表現①～③		
25	第35課 重要な文型と表現①・②		
26	第35課 重要な文型と表現③・④		
27	復習		
28	テスト前復習		
29	定期試験FB		
30	活動		
31	活動		
成績評価方法	前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100%（60%以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。		
教科書名	『学ぼう！にほんご 中級』（専門教育出版）		

科目名		日本語能力試験対策	国際科	2年通年
講師		上野 綾子	講義	月曜1限
実務経験のある教員等 による指導			8単位 128時間	全29回
科目概要		日本語能力試験に関しては、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。N2、N1に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。		
到達目標		日本語能力試験のN2、N1に合格することを目標とする。		
授業計画				
1	文字・語彙 漢字の読み 文脈規定 聴解 課題理解 読解練習			
2	文字・語彙 言い換え類義 用法 聴解 ポイント理解 読解練習			
3	文法 文の文法1 聴解 概要理解 読解練習			
4	JLPT模試①			
5	JLPT模試①FB			
6	文法 文の文法2 文章の文法 聴解 即時応答 統合理解 読解練習			
7	JLPT模試②			
8	JLPT模試②FB			
9	読解 短文 中文			
10	JLPT模試③			
11	JLPT模試③FB			
12	読解 内容理解（長文） 統合理解			
13	読解 統合理解 主張理解 情報検索			
14	苦手克服			
15	定期試験FB			
16	活動			
17	JLPT模試①			
18	JLPT模試①FB			
19	JLPT模試②			
20	JLPT模試②FB			
21	JLPT模試③			
22	JLPT模試③FB			
23	苦手克服			
24	苦手克服			
25	苦手克服			
26	苦手克服			
27	定期試験FB			
28	活動			
29	活動			
成績評価方法		前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100%（60%以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。		
教科書名		『日本語能力試験N1 予想問題集（改訂版）』（国書刊行会）		

科目名	日本語能力試験対策	国際科	2年通年
講師	吉村 萌	講義	月曜1限
実務経験のある教員等 による指導		8単位 128時間	全29回
科目概要	日本語能力試験に関しては、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。N2、N1に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。		
到達目標	日本語能力試験のN2、N1に合格することを目標とする。		
授業計画			
1	文字語彙①		
2	文字語彙②、聴解①		
3	文法①、聴解②		
4	JLPT模試①		
5	JLPT模試①FB		
6	文法②、聴解③		
7	JLPT模試②		
8	JLPT模試②FB		
9	読解①、聴解④		
10	JLPT模試③		
11	JLPT模試③FB		
12	読解②、聴解⑤		
13	まとめ、復習		
14	読解③、復習		
15	定期試験FB		
16	文字・語彙③、文法③		
17	JLPT模試①		
18	JLPT模試①FB		
19	JLPT模試②		
20	JLPT模試②FB		
21	JLPT模試③		
22	JLPT模試③FB		
23	文法④、聴解⑥		
24	読解④、聴解⑦		
25	読解⑤、聴解⑧		
26	まとめ、復習		
27	定期試験FB		
28	弱点分野確認、振り返り		
29	活動		
成績評価方法	前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100%（60%以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。		
教科書名	『日本語能力試験対策これ一冊N3』（アスク出版）		

科目名	日本語能力試験対策	国際科	2年前期
講師	鎌農 美智子	講義	月曜1限
実務経験のある教員等 による指導		8単位 128時間	全29回
科目概要	日本語能力試験に関しては、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。N2、N1に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。		
到達目標	日本語能力試験のN2、N1に合格することを目標とする。		
授業計画			
1	漢字読みテスト、言葉を覚えよう1、例題と解き方～言語知識編～、第2週1日目		
2	漢字読みテスト、言葉を覚えよう1、例題と解き方～読解編～、第4週2日目		
3	漢字読みテスト、言葉を覚えよう1、例題と解き方～聴解編～、第12週1日目		
4	JLPT模試①		
5	JLPT模試①FB		
6	漢字読みテスト、小テスト、言葉を覚えよう1、第6週1日目		
7	JLPT模試②		
8	JLPT模試②FB		
9	漢字読みテスト、言葉を覚えよう1、第7週1日目		
10	JLPT模試③		
11	JLPT模試③FB		
12	漢字読みテスト、言葉を覚えよう1、小テスト、第8週1日目		
13	定期試験前復習		
14	定期試験FB		
15	漢字読みテスト、小テスト		
16	JLPT模試①		
17	JLPT模試①FB		
18	JLPT模試②		
19	JLPT模試②FB		
20	JLPT模試③		
21	JLPT模試③FB		
22	語彙テスト、第3週1日目、第5週2日目、第10週1日目		
23	文法テスト、第1週2日目、第9週2日目、第3週2日目		
24	読解テスト、第1週2日目、第9週2日目、第3週3日目		
25	聴解テスト、第1週2日目、第9週2日目、第3週4日目		
26	定期試験FB		
27	語形成、文章の文法、文の組み立て		
28	活動		
29	活動		
成績評価方法	前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100%（60%以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。		
教科書名	「JLPT N2 日本語能力試験ベスト総合問題集」（the japan times）		

科目名	日本語能力試験対策	国際科	2年通年
講師	吉村 萌	講義	水曜3限
実務経験のある教員等による指導		8単位 128時間	全32回
科目概要	日本語能力試験に関しては、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。N2、N1に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。		
到達目標	日本語能力試験のN2、N1に合格することを目標とする。		
授業計画			
1	第1回 文法1		
2	第1回 文法2、文章の文法		
3	第2回 文法1、日本語パワードリル①		
4	第2回 文法2、文章の文法		
5	第3回 文法1、日本語パワードリル②		
6	JLPT模試①FB		
7	第3回 文法2、文章の文法		
8	JLPT模試②FB		
9	第4回 文法1、日本語パワードリル③		
10	第4回 文法2、文章の文法		
11	JLPT模試③FB		
12	第5回 文法1、日本語パワードリル④		
13	日本語パワードリル「集中トレーニング」①		
14	第5回 文法2、テスト前復習		
15	定期試験FB		
16	日本語パワードリル「集中トレーニング」②		
17	第6回 文法1、日本語パワードリル⑤		
18	第6回 文法2、文章の文法		
19	JLPT模試①FB		
20	第7回 文法1、日本語パワードリル⑥		
21	第7回 文法2、文章の文法		
22	JLPT模試②FB		
23	第8回 文法1、日本語パワードリル⑦		
24	第8回 文法2、文章の文法		
25	JLPT模試③FB		
26	第9回 文法1、日本語パワードリル⑧		
27	第9回 文法2、文章の文法		
28	第10回 文法1、日本語パワードリル⑨		
29	第10回 文法2、テスト前復習		
30	定期試験FB		
31	日本語パワードリル「集中トレーニング」③		
32	活動		
成績評価方法	前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100%（60%以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。		
教科書名	『とりあえず日本語能力試験対策N1』（ココ出版） 『日本語パワードリルN1文法』（アスク出版）		

科目名		日本語能力試験対策	国際科	2 年通年
講師		梅山 みどり	講義	水曜 3 限
実務経験のある教員等 による指導			8単位 128時間	全32回
科目概要		日本語能力試験に関しては、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。N 2、N 1 に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。		
到達目標		日本語能力試験のN 2、N 1 に合格することを目標とする。		
授業計画				
1	p8,9 p10,11			
2	p12,13 p14,15			
3	p16,17 p20,21			
4	p22,23 p24,25			
5	p26,27 p28,29			
6	JLPT模試①FB			
7	p30,31 p32,33			
8	JLPT模試②FB			
9	p34,35 p36,37			
10	p38,39 p40,41			
11	JLPT模試③FB			
12	p44,45 p46,47			
13	p48,49 p50,51			
14	p18,19 p30,31 p42,43 p54,55 p66,67			
15	定期試験FB			
16	p52,53 p56,57			
17	p58,59 p60,61			
18	p62,63 p64,65			
19	JLPT模試①FB			
20	p68,69 p70,71			
21	p72,73 p74,75			
22	JLPT模試②FB			
23	p76,77 p8,9			
24	p10,11 p12,13			
25	JLPT模試③FB			
26	p14,15 p16,17			
27	p20,21 p22,23			
28	p24,25 p26,27			
29	p28,29 p32,33			
30	定期試験FB			
31	p34,35 p36,37			
32	活動			
成績評価方法		前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100%（60%以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。		
教科書名		「日本語パワードリル N2 文法」		

科目名	日本語能力試験対策	国際科	2年通年
講師	上野 綾子、 欽農 美智子	講義	水曜3限
実務経験のある教員等 による指導		8単位 128時間	全32回
科目概要	日本語能力試験に関しては、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。N2、N1に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。		
到達目標	日本語能力試験のN2、N1に合格することを目標とする。		
授業計画			
1	『とりあえず』第1回 文の文法		
2	『とりあえず』第1回 文の文法2、文章の文法、『パワードリル』第1回 文の文法1		
3	『とりあえず』第2回 文の文法1、『パワードリル』第1回 文の文法2、文章の文法		
4	『とりあえず』第2回 文の文法2、文章の文法、『パワードリル』第2回 文の文法1		
5	『とりあえず』第3回 文章の文法1、『パワードリル』第2回 文の文法2、文章の文法		
6	JLPT模試①FB		
7	『とりあえず』第3回 文章の文法2、文章の文法、『パワードリル』第3回 文の文法1		
8	JLPT模試②FB		
9	『とりあえず』第4回 文の文法1、『パワードリル』第3回 文の文法2、文章の文法		
10	『とりあえず』第4回 文の文法2、文章の文法、『パワードリル』第4回 文の文法1		
11	JLPT模試③FB		
12	『とりあえず』第5回 文の文法1、『パワードリル』第4回 文の文法2、文章の文法		
13	『パワードリル』第30回 文の文法1、文の文法2、文章の文法		
14	『とりあえず』第5回 文の文法2、文章の文法、『パワードリル』第5回 文の文法1		
15	定期試験FB		
16	『とりあえず』第6回 文の文法1、『パワードリル』第5回 文の文法2、文章の文法		
17	『とりあえず』第6回 文の文法2、文章の文法、『パワードリル』第6回 文の文法1		
18	『とりあえず』第7回 文の文法1、『パワードリル』第6回 文の文法2、文章の文法		
19	JLPT模試①FB		
20	『とりあえず』第7回 文の文法2、文章の文法、『パワードリル』第7回 文の文法1		
21	『とりあえず』第8回 文の文法1、『パワードリル』第7回 文の文法2、文章の文法		
22	JLPT模試②FB		
23	『とりあえず』第8回 文の文法2、文章の文法、『パワードリル』第8回 文の文法1		
24	『とりあえず』第9回 文の文法1、『パワードリル』第8回 文の文法2、文章の文法		
25	JLPT模試③FB		
26	『とりあえず』第9回 文の文法2、文章の文法、『パワードリル』第9回 文の文法1		
27	『とりあえず』第10回 文の文法1、『パワードリル』第9回 文の文法2、文章の文法		
28	『とりあえず』第10回 文の文法2、文章の文法、『パワードリル』第10回 文の文法1		
29	『パワードリル』第10回 文の文法2、文章の文法、第11回 文の文法1		
30	定期試験FB		
31	『パワードリル』第11回 文の文法2、文章の文法、第12回 文の文法1		
32	活動		
成績評価方法	前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100%（60%以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。		
教科書名	『とりあえず日本語能力試験対策文法N3』（株式会社シナノパブリッシングプレス） 『日本語能力試験対策日本語パワードリルN3文法』（株式会社広済堂ネクスト）		

科目名		日本語能力試験対策	国際科	2 年通年
講師		鎌農 美智子	講義	金曜 3 限
実務経験のある教員等 による指導			8単位 128時間	全31回
科目概要		日本語能力試験に関しては、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。N 2、N 1 に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。		
到達目標		日本語能力試験のN 2、N 1 に合格することを目標とする。		
授業計画				
1	N1：第1回 N3：第 1 回 ※聴解は不定期で実施する			
2	N1：第1回 N3：第 1 回			
3	JLPT模試①			
4	JLPT模試①FB			
5	JLPT模試①FB			
6	JLPT模試②			
7	JLPT模試②FB			
8	JLPT模試②FB			
9	JLPT模試③			
10	JLPT模試③FB			
11	JLPT模試③FB			
12	N1：第 2 回 N3：第 2 回			
13	N1：第 3 回 N3：第 3 回			
14	N1：第 4 回 N3：第 4 回			
15	定期試験FB			
16	JLPT模試①			
17	JLPT模試①FB			
18	JLPT模試①FB			
19	JLPT模試②			
20	JLPT模試②FB			
21	JLPT模試②FB			
22	JLPT模試③			
23	JLPT模試③FB			
24	JLPT模試③FB			
25	N1：第5回 N3：第5回			
26	N1：第 6 回 N3：第 6 回			
27	N1：第 7 回 N3：第 7 回			
28	N1：第 8 回 N3：第 8 回			
29	定期試験FB			
30	N1：第 9 回 N3：第 9 回			
31	活動			
成績評価方法		前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々的小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100%（60%以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。		
教科書名		「とりあえず日本語能力試験対策 N1 文字・語彙」（ココ出版）「ドリル＆ドリルN1聴解・読解」（ユニコム） 「とりあえず日本語能力試験対策 N3 文字・語彙」（ココ出版）「ドリル＆ドリルN3聴解・読解」（ユニコム）		

科目名	日本語能力試験対策	国際科	2年通年
講師	永村 洋藤	講義	金曜3限
実務経験のある教員等 による指導		8単位 128時間	全31回
科目概要	日本語能力試験に関しては、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。N2、N1に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。		
到達目標	日本語能力試験のN2、N1に合格することを目標とする。		
授業計画			
1	課題理解第1～2回		
2	課題理解第3～4回		
3	JLPT模試①		
4	JLPT模試①FB		
5	JLPT模試①FB		
6	JLPT模試②		
7	JLPT模試②FB		
8	JLPT模試②FB		
9	JLPT模試③		
10	JLPT模試③FB		
11	JLPT模試③FB		
12	課題理解第5回、ポイント理解 第1回		
13	ポイント理解第2～3回		
14	ポイント理解第4～5回		
15	定期試験FB		
16	概要理解第1～3回		
17	JLPT模試①		
18	JLPT模試①FB		
19	JLPT模試①FB		
20	JLPT模試②		
21	JLPT模試②FB		
22	JLPT模試②FB		
23	JLPT模試③		
24	JLPT模試③FB		
25	JLPT模試③FB		
26	概要理解第4～5回		
27	即時応答第1～5回		
28	統合理解第1～2回		
29	定期試験FB		
30	統合理解第3～5回		
31	活動		
成績評価方法	前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々的小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100%（60%以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。		
教科書名	ドリル＆ドリルN2 日本語能力試験 聴解（読解）		

科目名	日本語能力試験対策	国際科	2年通年
講師	欽農 美智子	講義	金曜4限
実務経験のある教員等 による指導		8単位 128時間	全31回
科目概要	日本語能力試験に関しては、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。N2、N1に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。		
到達目標	日本語能力試験のN2、N1に合格することを目標とする。		
授業計画			
1	第1回		
2	第1回		
3	JLPT模試①		
4	JLPT模試①FB		
5	JLPT模試①FB		
6	JLPT模試②		
7	JLPT模試②FB		
8	JLPT模試②FB		
9	JLPT模試③		
10	JLPT模試③FB		
11	JLPT模試③FB		
12	第2回		
13	第2回		
14	復習		
15	定期試験FB		
16	第3回		
17	JLPT模試①		
18	JLPT模試①FB		
19	JLPT模試①FB		
20	JLPT模試②		
21	JLPT模試②FB		
22	JLPT模試②FB		
23	JLPT模試③		
24	JLPT模試③FB		
25	JLPT模試③FB		
26	第3回		
27	第4回		
28	第4回		
29	定期試験FB		
30	第5回		
31	活動		
成績評価方法	前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90％、出席率を10％として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100％（60％以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90％未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。		
教科書名	「とりあえず日本語能力試験対策 読解N1」（ココ出版）		

科目名		日本語能力試験対策	国際科	2 年通年
講師		吉村 萌	講義	金曜 4 限
実務経験のある教員等 による指導			8単位 128時間	全31回
科目概要		日本語能力試験に関しては、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。N 2、N 1 に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。		
到達目標		日本語能力試験のN 2、N 1 に合格することを目標とする。		
授業計画				
1	読み方のポイント 1 「接続の表現 1 」			
2	読み方のポイント 2 「接続の表現 2 」			
3	JLPT模試①			
4	JLPT模試①FB			
5	JLPT模試①FB			
6	JLPT模試②			
7	JLPT模試②FB			
8	JLPT模試②FB			
9	JLPT模試③			
10	JLPT模試③FB			
11	JLPT模試③FB			
12	読み方のポイント 3 「指示詞」			
13	情報検索問題			
14	読み方のポイント 4 「主語などの省略」、復習			
15	定期試験FB			
16	読み方のポイント 5 「理由」			
17	JLPT模試①			
18	JLPT模試①FB			
19	JLPT模試①FB			
20	JLPT模試②			
21	JLPT模試②FB			
22	JLPT模試②FB			
23	JLPT模試③			
24	JLPT模試③FB			
25	JLPT模試③FB			
26	いろいろなタイプの文章「メール・メモ・お知らせ」			
27	いろいろなタイプの文章「意見文」			
28	いろいろなタイプの文章「長文と情報検索」			
29	定期試験FB			
30	いろいろなタイプの文章「説明文」			
31	活動			
成績評価方法		前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を 90％、出席率を10％として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100％（60％以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90％未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。		
教科書名		『JLPT読解N3ポイント＆プラクティス』（スリーエーネットワーク）		

科目名		日本語能力試験対策	国際科	2年通年
講師		上野 綾子	講義	金曜4限
実務経験のある教員等 による指導			8単位 128時間	全31回
科目概要		日本語能力試験に関しては、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。N2、N1に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。		
到達目標		日本語能力試験のN2、N1に合格することを目標とする。		
授業計画				
1	読解 第1回 短文、中文、統合理解			
2	読解 第1回 長文、情報検索			
3	JLPT模試①			
4	JLPT模試①FB			
5	JLPT模試①FB			
6	JLPT模試②			
7	JLPT模試②FB			
8	JLPT模試②FB			
9	JLPT模試③			
10	JLPT模試③FB			
11	JLPT模試③FB			
12	読解 第1回 短文、中文残り～			
13	読解 練習			
14	復習			
15	定期試験FB			
16	活動			
17	JLPT模試①			
18	JLPT模試①FB			
19	JLPT模試①FB			
20	JLPT模試②			
21	JLPT模試②FB			
22	JLPT模試②FB			
23	JLPT模試③			
24	JLPT模試③FB			
25	JLPT模試③FB			
26	読解 第2回 短文、中文、統合理解			
27	読解 第2回 長文、情報検索			
28	復習			
29	定期試験FB			
30	活動			
31	活動			
成績評価方法		前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90％、出席率を10％として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100％（60％以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90％未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。		
教科書名		『とりあえず日本語能力試験対策N2 読解』（ココ出版）		

科目名	ビジネス日本語Ⅱ	国際科	2年通年
講師	欽農 美智子	講義	火曜6限
実務経験のある教員等 による指導		2単位 32時間	全31回
科目概要	仕事をするうえで役に立つ日本語表現を学ぶ。ロールプレイを通して敬語を正しく使えるようになるなど、実際の現場で使われる表現や日本語の知識を習得することを目標とする。		
到達目標	実際に働く際に役立つ日本語の知識を習得し、実践的に使えるようになることを目標とする。		
授業計画			
1	インターンシップのアポイント時に使う日本語（1）		
2	インターンシップのアポイント時に使う日本語（2）		
3	インターンシップのアポイント時に使う日本語（3）		
4	第7課 アポイントを取る		
5	第7課 アポイントを取る		
6	第7課 アポイントを取る		
7	第4課 注意をする・注意を受ける		
8	第4課 注意をする・注意を受ける		
9	第4課 注意をする・注意を受ける		
10	第5課 頼む・断る		
11	第5課 頼む・断る		
12	第5課 頼む・断る		
13	復習		
14	定期試験前復習		
15	定期試験FB		
16	第6課 許可をもらう		
17	第6課 許可をもらう		
18	第6課 許可をもらう		
19	第8課 訪問する		
20	第8課 訪問する		
21	第8課 訪問する		
22	第8課 訪問する		
23	ロールプレイ		
24	ロールプレイ		
25	ロールプレイ		
26	ロールプレイ		
27	ロールプレイ		
28	定期試験前復習		
29	定期試験FB		
30	ロールプレイ		
31	活動		
成績評価方法	前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100%（60%以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。		
教科書名	「にほんごで働く！ビジネス日本語30時間」（スリーエーネットワーク）		

科目名	日本事情Ⅱ	国際科	2年通年
講師	欽農 美智子	講義	月曜5限
実務経験のある教員等 による指導		2単位 32時間	全29回
科目概要	日本企業の職場の慣習などを学びながら、ビジネスシーンで使用するボキャブラリーを増やし、ビジネススキルを学ぶ		
到達目標	1年次にビジネス日本語やビジネスマナーの授業で勉強したことをベースに、もっと大きな視点からビジネススキルをアップさせ、社会人への一歩を踏み出せるようになる。		
授業計画			
1	導入 このテキストを使った勉強の仕方 漢字の読みについて		
2	①挨拶のスキル 最初が肝心！自己紹介の方法		
3	②聞き取りのスキル① 会社名は種類と業種がカギ！		
4	②聞き取りのスキル① 会社名は種類と業種がカギ！		
5	③聞き取りのスキル② 情報を整理しながら聞く		
6	③聞き取りのスキル② 情報を整理しながら聞く		
7	④やりとりのスキル① やっぱり大事な「報連相」		
8	④やりとりのスキル① やっぱり大事な「報連相」		
9	⑤やりとりのスキル② ロジカルで説得力のある話し方		
10	⑤やりとりのスキル② ロジカルで説得力のある話し方		
11	⑥やりとりのスキル③ 自分の意見を伝えるために		
12	⑥やりとりのスキル③ 自分の意見を伝えるために		
13	⑥やりとりのスキル③ 自分の意見を伝えるために		
14	定期試験前復習		
15	定期試験FB		
16	⑦読み取りのスキル① 形式も理由があって使っています		
17	⑦読み取りのスキル① 形式も理由があって使っています		
18	⑧読み取りのスキル② スキャニング・スキミングのスキルアップを！		
19	⑧読み取りのスキル② スキャニング・スキミングのスキルアップを！		
20	⑨読み取りのスキル② データからわかりやすいグラフを作ろう！		
21	⑨読み取りのスキル② データからわかりやすいグラフを作ろう！		
22	⑨読み取りのスキル② データからわかりやすいグラフを作ろう！		
23	⑩書くスキル① 基本の型を活用して能率アップ！		
24	⑩書くスキル① 基本の型を活用して能率アップ！		
25	⑪書くスキル② ポイントがすぐ見える・わかる文章		
26	⑪書くスキル② ポイントがすぐ見える・わかる文章		
27	定期試験前復習		
28	定期試験FB		
29	活動		
成績評価方法	前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100%（60%以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。		
教科書名	「それ、知りたかったカイシャの日本語」（財）日本漢字能力検定協会）		

科目名	日本語レベルアップ		国際科	2年通年
講師	上野 綾子		講義	金曜 5 限
実務経験のある教員等 による指導			2単位 32時間	全31回
科目概要	「話す」、「書く」などを中心に学ぶ。自ら発信する力を身に付けることで、日本語を「知っている」から「使える」に変え、日本語を運用できる力を習得する。			
到達目標	日本語の運用能力の向上を目標とする。			
授業計画				
1	春休みの宿題FB 「春休みの思い出」	自分の国の紹介VTRについて説明	→ 動画選択	
2	春休みの宿題FB 「春休みの思い出」	自分の国の紹介VTR	動画選択	
3	春休みの宿題FB 「自分と同じ誕生日に生まれた偉人について知ろう」	自分の国の紹介VTR	スクリプト作成	
4	春休みの宿題FB 「自分と同じ誕生日に生まれた偉人について知ろう」	自分の国の紹介VTR	スクリプト作成	
5	自分の国の紹介VTR スクリプト作成			
6	自分の国の紹介VTR アテレコ練習			
7	自分の国の紹介VTR アテレコ練習			
8	自分の国の紹介VTR アテレコ練習			
9	発表の構成の検討 → 練習			
10	発表			
11	発表「日本人が好むと思う自分の国のもの」の下調べ 日本人へのインタビュー準備			
12	発表「日本人が好むと思う自分の国のもの」の下調べ 日本人へのインタビュー準備			
13	インタビューの実施			
14	構成の検討			
15	発表「日本人が好むと思う自分の国のもの」の発表準備			
16	定期試験FB			
17	まとめ			
18	スライド「わたしの○○」とは			
19	構成の検討			
20	スライド作成			
21	スライド作成			
22	スライド作成			
23	スライド作成			
24	スライド作成			
25	スライド完成 → 練習			
26	発表準備			
27	リハーサル			
28	発表			
29	発表			
30	定期試験FB			
31	活動			
成績評価方法	前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々的小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100%（60%以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。			
教科書名	自作教材を使用			

科目名	通訳講座		国際科	2年通年
講師	Tran Ngoc Trinh		講義	火曜 1 限
実務経験のある教員等 による指導			4 単位 64時間	全31回
科目概要	1年次で築いた土台の上に基本的な練習を続けながら、通訳者にとって大切なメモ取りの練習や言い換え練習などより高度な練習を行う。さらに、実際に逐次通訳から通訳の練習などを取り入れていく。			
到達目標	1年次で身に付けたスキルをもとに、実際に通訳ができるようになることを目標とする。			
授業計画				
1	第 1 部 聴解テスト セクション 2 発言聴解問題 Q & A の想像 ベトナム語訳			
2	第 1 部 聴解テスト セクション 2 発言聴解問題 Q & A の想像 ベトナム語訳			
3	第 1 部 聴解テスト セクション 2 発言聴解問題 Q & A の想像 復習			
4	第 2 部 聴読解テスト セクション 1 状況把握問題 1 番、2 番 内容把握 ベトナム語訳			
5	第 2 部 聴読解テスト セクション 1 状況把握問題 3 番、4 番 内容把握 ベトナム語訳			
6	第 2 部 聴読解テスト セクション 1 状況把握問題 5 番、6 番 内容把握 ベトナム語訳			
7	第 2 部 聴読解テスト セクション 1 状況把握問題 7 番、8 番 内容把握 ベトナム語訳			
8	第 2 部 聴読解テスト セクション 1 状況把握問題 9 番、10 番 内容把握 ベトナム語訳			
9	第 1 部 聴解テスト セクション 3 総合聴解問題 1 番 内容把握 ベトナム語訳			
10	第 1 部 聴解テスト セクション 3 総合聴解問題 2 番 内容把握 ベトナム語訳			
11	第 1 部 聴解テスト セクション 3 総合聴解問題 5 番 内容把握 ベトナム語訳			
12	第 1 部 聴解テスト セクション 3 総合聴解問題 6 番 内容把握 ベトナム語訳			
13	復習			
14	定期試験FB			
15	まとめ			
16	第 1 部 聴解テスト セクション 3 総合聴解問題 7 番 内容把握 ベトナム語訳			
17	第 1 部 聴解テスト セクション 3 総合聴解問題 8 番 内容把握 ベトナム語訳			
18	第 1 部 聴解テスト セクション 3 総合聴解問題 12 番 内容把握 ベトナム語訳			
19	第 1 部 聴解テスト セクション 3 総合聴解問題 13 番 内容把握 ベトナム語訳			
20	第 1 部 聴解テスト セクション 3 総合聴解問題 14 番 内容把握 ベトナム語訳			
21	第 1 部 聴解テスト セクション 3 総合聴解問題 16 番 内容把握 ベトナム語訳			
22	第 1 部 聴解テスト セクション 3 総合聴解問題 17 番 内容把握 ベトナム語訳			
23	第 1 部 聴解テスト セクション 3 総合聴解問題 25 番 内容把握 ベトナム語訳			
24	映像通訳			
25	映像通訳			
26	映像通訳			
27	映像通訳 発表			
28	定期試験FB			
29	活動			
30	活動			
31	活動			
成績評価方法	前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100%（60%以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。			
教科書名	『BJTビジネス日本語能力テスト 聴解・聴読解 実力養成問題集 第2版』（スリーエーネットワーク）			

科目名	通訳入門	国際科	2年通年
講師	松本 真夕	講義	火曜1限
実務経験のある教員等 による指導		4単位 64時間	全31回
科目概要	英検3級程度の文法語彙力をつけ、それを日本語でも言えるように力をつける。		
到達目標	英検3級程度の英会話ができるようになり、その英語を自然な日本語に通訳、または翻訳できる事を目標とする。		
授業計画			
1	3級の名詞①		
2	3級の名詞②		
3	3級の動詞①		
4	3級の動詞②		
5	動詞の熟語①		
6	動詞の熟語②		
7	BE動詞の熟語		
8	形容詞		
9	副詞		
10	接続詞前置詞		
11	熟語		
12	比較		
13	試験前復習		
14	定期試験FB		
15	動詞の形		
16	toを使った文型		
17	受け身		
18	現在完了		
19	疑問文		
20	誘う・頼むときの表現		
21	ひとことフレーズ		
22	電話での会話		
23	道案内の文		
24	買い物の表現		
25	会話での疑問文		
26	試験前復習		
27	試験前復習		
28	定期試験FB		
29	まとめ		
30	まとめ		
31	活動		
成績評価方法	前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100%（60%以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。		
教科書名	英検3級をひとつひとつわかりやすく		

科目名		通訳講座		国際科	2年通年
講師		上野 綾子		講義	火曜3限
実務経験のある教員等 による指導				4単位 64時間	全32回
科目概要		1年次で築いた土台の上に基本的な練習を続けながら、通訳者にとって大切なメモ取りの練習や言い換え練習などより高度な練習を行う。さらに、実際に逐次通訳から通訳の練習などを取り入れていく。			
到達目標		1年次で身に付けたスキルをもとに、実際に通訳ができるようになることを目標とする。			
授業計画					
1	第1部 聴解テスト	セクション2	発言聴解問題	Q&Aの想像 / 第1章 1. おもてなしの心を表す表現	
2	第1部 聴解テスト	セクション2	発言聴解問題	Q&Aの想像 / 第1章 あいさつ	
3	第1部 聴解テスト	セクション2	発言聴解問題	Q&Aの想像 復習 / 第1章 2. 行き届いた～	
4	第2部 聴読解テスト	セクション1	状況把握問題	1番、2番 内容把握 / 第1章 2. 行き届いた～	
5	第2部 聴読解テスト	セクション1	状況把握問題	3番、4番 内容把握 / 3. よく使うことば	
6	第2部 聴読解テスト	セクション1	状況把握問題	5番、6番 内容把握 / 3. よく使うことば	
7	第2部 聴読解テスト	セクション1	状況把握問題	7番、8番 内容把握 / 3. よく使うことば	
8	第2部 聴読解テスト	セクション1	状況把握問題	9番、10番 内容把握 / 3. よく使うことば	
9	第1部 聴解テスト	セクション3	総合聴解問題	1番 内容把握 / 3. よく使うことば	
10	第1部 聴解テスト	セクション3	総合聴解問題	2番 内容把握 / 3. よく使うことば	
11	第1部 聴解テスト	セクション3	総合聴解問題	5番 内容把握 / 第2章1. チェックイン	
12	第1部 聴解テスト	セクション3	総合聴解問題	6番 内容把握 / 第2章1. チェックイン	
13	復習				
14	定期試験FB				
15	まとめ				
16	第1部 聴解テスト	セクション3	総合聴解問題	7番 内容把握 / 第2章2. 部屋の案内	
17	第1部 聴解テスト	セクション3	総合聴解問題	8番 内容把握 / 第2章2. 部屋の案内	
18	第1部 聴解テスト	セクション3	総合聴解問題	12番 内容把握 / 第2章2. 部屋の案内	
19	第1部 聴解テスト	セクション3	総合聴解問題	13番 内容把握 / 第2章3. 両替	
20	第1部 聴解テスト	セクション3	総合聴解問題	14番 内容把握 / 第2章3. 両替	
21	第1部 聴解テスト	セクション3	総合聴解問題	16番 内容把握 / 第2章3. 両替	
22	第1部 聴解テスト	セクション3	総合聴解問題	17番 内容把握 / 第2章4. チェックアウト	
23	第1部 聴解テスト	セクション3	総合聴解問題	25番 内容把握 / 第2章4. チェックアウト	
24	映像通訳				
25	映像通訳				
26	映像通訳				
27	映像通訳 発表				
28	復習				
29	定期試験FB				
30	活動				
31	活動				
32	活動				
成績評価方法		前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100%（60%以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。			
教科書名		『BJTビジネス日本語能力テスト 聴解・聴読解 実力養成問題集 第2版』（スリーエーネットワーク） 『サービス日本語－ホテルスタッフ編－』（凡人社）			

科目名	IT観光ビジネスⅡ		国際科	2年通年
講師	稲継 香		講義	水曜4限
実務経験のある教員等による指導	旅行業で得た豊富な知識を活かし、実務的なシュミレーションも行いながら、学習します。		2単位 32時間	全32回
科目概要	様々な観光ビジネス産業、旅行業・宿泊産業・交通運輸業などについて学び、インターネットを利用したの旅行、宿泊の商品の検索方法、見方、予約方法などを習得します。また、観光の情報を発信・提供するための様々なツールについても理解を深めます。			
到達目標	観光関連の用語の意味を理解し、観光の専門用語を日本語で覚えます。インターネットを利用したの日本の観光ビジネスの商品の理解を深め、検索・予約ができ、即実践に役立てるように必要となるスキルを身につけます。			
授業計画				
1	様々な観光ビジネス 旅行業とは			
2	様々な観光ビジネス 旅行業の歴史			
3	様々な観光ビジネス 旅行業の商品と形態			
4	様々な観光ビジネス 旅行業と地域の関わり			
5	様々な観光ビジネス 宿泊産業の歴史と発展			
6	様々な観光ビジネス 様々な宿泊施設の分類			
7	様々な観光ビジネス ホテルの機能と業務			
8	様々な観光ビジネス 観光と交通の関わり			
9	様々な観光ビジネス 交通と交通運輸業			
10	様々な観光ビジネス 観光交通ビジネスの特性			
11	様々な観光ビジネス 観光交通への新たな要請			
12	様々な観光ビジネス テーマパーク			
13	様々な観光ビジネス スキー場			
14	様々な観光ビジネス 展示・観賞施設			
15	様々な観光ビジネス 土産品業			
16	定期試験FB			
17	観光と情報 観光行動と情報			
18	観光と情報 観光情報の媒体（ツール）			
19	観光と情報 効果的な観光情報の発信・提供方法			
20	観光政策と観光行政			
21	国の観光政策と観光行政			
22	地方における観光政策と観光行政			
23	観光のマーケティング マーケティングと観光への応用			
24	観光のマーケティングの対象と観光消費の対象となる「商品」			
25	観光のマーケティング活動の実際			
26	観光のマーケティング活動の実際			
27	観光のマーケティング活動の実際			
28	わが国におけるインバウンドの動向			
29	観光と国際経済の関わりー観光は見えざる貿易			
30	定期試験FB			
31	観光と国際社会・文化の関わり			
32	活動			
成績評価方法	前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90％、出席率を10％として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100％（60％以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90％未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。			
教科書名	観光学基礎			

科目名	ホテル＆ビジネスⅡ		国際科	2年通年
講師	稲継 香		講義	木曜3限
実務経験のある教員等による指導	旅行業で得たホテルの知識を活かし、実務的な内容を含みながら学習します。		4単位 64時間	全32回
科目概要	ホテル内での様々な職種（ホテルの組織）の基礎知識とホテルスタッフに求められる資質・能力について学びます。			
到達目標	ホテルに就職したい人やホスピタリティ産業に従事したい人が即実践に役立てるように必要となるスキルを身につけます。			
授業計画				
1	料飲部門の基礎知識 ホテルの料飲部門の種類			
2	料飲部門の基礎知識 ホテルレストランの朝食			
3	料飲部門の基礎知識 ホテルレストランのランチとディナー			
4	料飲部門の基礎知識 アフタヌーンティーについて			
5	料飲部門の基礎知識 フランス料理について			
6	料飲部門の基礎知識 中国料理について			
7	料飲部門の基礎知識 日本料理について			
8	料飲部門の基礎知識 ビバレッジ（アルコール類）			
9	料飲部門の基礎知識 ビバレッジ（ノンアルコール類）			
10	宴会の基礎知識 婚礼宴会			
11	宴会の基礎知識 一般宴会			
12	宴会の基礎知識 パーティ形式			
13	宴会の基礎知識 MICE			
14	宴会の基礎知識 宴会予約係の一般的な仕事内容			
15	宴会の基礎知識 宴会サービス係の一般的な仕事内容			
16	宴会の基礎知識 宴会のテーブルプラン			
17	定期試験FB			
18	ホテルスタッフに求められる能力 ホテルスタッフが知っておくべき基本的な知識			
19	ホテルスタッフに求められる能力 スペシャリストとジェネラリスト			
20	ホテルスタッフに求められる能力 求められる資質・能力			
21	ホテルスタッフに求められる能力 身だしなみ・動作に関わる基本的な注意事項			
22	ホテルスタッフに求められる能力 ホスピタリティーとは			
23	ホテルと取り巻く環境			
24	ホテルの社会的責任 ホテル・旅館に関わる法律			
25	ホテルの社会的責任 ホテルの防災			
26	ホテルの社会的責任 食中毒への対応、食物アレルギーへの対応			
27	ホテルの社会的責任 高齢者・障がい者等への対応			
28	ホテルの社会的責任 個人情報やプライバシーを守るための取り組み			
29	これからのホテル			
30	定期試験FB			
31	ホテル業界用語			
32	活動			
成績評価方法	前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90％、出席率を10％として評定する。日々的小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100％（60％以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90％未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。			
教科書名	基礎から学ぶホテルの概論			

科目名	ホテル＆ビジネスⅡ	国際科	2年通年
講師	稲継 香	講義	木曜4限
実務経験のある教員等による指導	旅行業で得たホテルの知識を活かし、実務的な内容を含みながら学習します。	4単位 64時間	全32回
科目概要	ホテル内での様々な職種（ホテルの組織）の基礎知識とホテルスタッフに求められる資質・能力について学びます。		
到達目標	ホテルに就職したい人やホスピタリティ産業に従事したい人が即実践に役立てるように必要となるスキルを身につけます。		
授業計画			
1	日本の観光ビジネスの概要		
2	日本の宿泊施設の分類 旅館とホテルの特徴 旅館とホテルのサービスの特徴		
3	日本の宿泊施設の分類 旅館のタイプ ホテルのタイプ		
4	日本の宿泊施設の分類 求められるスタッフのスキル 利用客のニーズ		
5	日本の宿泊施設の分類 法律と定員 知っておくべきプロトコール		
6	日本の宿泊施設の分類 無形文化遺産「和食」		
7	日本の宿泊施設の分類 「箸」の文化 日本料理と器		
8	日本の宿泊施設の分類 訪日外国人旅行者への配慮		
9	日本の宿泊施設の分類 訪日外国人旅行者が旅行中に困ったこと		
10	組織とスタッフの業務 旅館・ホテルの組織、旅館・ホテルのキャリアマップ		
11	組織とスタッフの業務 旅館の仕事		
12	組織とスタッフの業務 ホテルの仕事		
13	組織とスタッフの業務 接客マナー・言葉づかい、TPOとは		
14	組織とスタッフの業務 予約の受け方・対応するうえで大切なこと、アレルギー対応・食べられない食材への対応		
15	組織とスタッフの業務 アレルギー対応・食べられない食材への対応、お身体が不自由なお客様への対応		
16	組織とスタッフの業務 ホスピタリティとサービス		
17	定期試験FB		
18	専門職に求められるスキル ホテル各セクションの業務、ステップアップのための基礎スキル		
19	専門職に求められるスキル 企業ビジョンに基づく業務の推進、ホスピタリティの実践		
20	専門職に求められるスキル チームワークとコミュニケーション		
21	専門職に求められるスキル お客様の安全確保と衛生管理、施設管理と環境対策		
22	実務の基礎知識 お客様満足度とクレーム・コンプレイン		
23	実務の基礎知識 クレームとコンプレインの違い		
24	実務の基礎知識 クレーム・コンプレインが発生した場合には		
25	実務の基礎知識 クレーム・コンプレインを防止するためには		
26	実務の基礎知識 ホテル用語の基礎知識		
27	日本の作法 席順、和室での立ち居振る舞い		
28	日本の作法 祝箸と忌み箸・箸のマナー		
29	日本の作法 年中行事・節句とハレの日の食事、冠婚葬祭・人生儀礼		
30	定期試験FB		
31	活動		
32	活動		
成績評価方法	前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100%（60%以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。		
教科書名	旅館ホテル・観光の教科書		

科目名	翻訳の日本語	国際科	2 年通年
講師	吉村 萌	講義	木曜 5 限
実務経験のある教員等 による指導		4 単位 64時間	全31回
科目概要	日本語の様々な言い換え表現に触れ、状況に応じた言い換えの技術を実践的に学ぶ。		
到達目標	翻訳に関する知識、必要となるスキルを身に付け、目的や伝達手段に応じて日本語を適切に言い換えられるようになることを目指す。		
授業計画			
1	第Ⅰ部第Ⅰ課	ステップⅠ－Ⅰ	
2	第Ⅰ部第Ⅰ課	ステップⅠ－Ⅱ	
3	第Ⅰ部第Ⅰ課	ステップⅡ－Ⅰ	
4	第Ⅰ部第Ⅰ課	ステップⅡ－Ⅱ	
5	実践練習①		
6	第Ⅰ部第Ⅲ課	ステップⅠ－Ⅰ	
7	第Ⅰ部第Ⅲ課	ステップⅠ－Ⅱ	
8	第Ⅰ部第Ⅲ課	ステップⅡ－Ⅰ	
9	第Ⅰ部第Ⅲ課	ステップⅡ－Ⅱ	
10	第Ⅰ部第Ⅰ・Ⅲ課	まとめ、復習	
11	実践練習②		
12	実践練習③		
13	第Ⅰ部第Ⅰ・Ⅲ課	ステップⅢ	
14	第Ⅱ部第Ⅰ課	ステップⅠ－Ⅰ	
15	第Ⅱ部第Ⅰ課	ステップⅠ－Ⅱ	
16	テスト前復習		
17	定期試験FB		
18	第Ⅱ部第Ⅰ課	ステップⅡ－Ⅰ	
19	第Ⅱ部第Ⅰ課	ステップⅡ－Ⅱ	
20	第Ⅱ部第Ⅲ課	ステップⅠ－Ⅰ	
21	第Ⅱ部第Ⅲ課	ステップⅠ－Ⅱ	
22	第Ⅱ部第Ⅲ課	ステップⅡ－Ⅰ	
23	第Ⅱ部第Ⅲ課	ステップⅡ－Ⅱ	
24	第Ⅱ部Ⅰ・Ⅲ課	まとめ、復習	
25	実践練習④		
26	第Ⅲ部実践問題①		
27	第Ⅲ部実践問題②		
28	活動		
29	テスト前復習		
30	定期試験FB		
31	活動		
成績評価方法	前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100%（60%以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。		
教科書名	『アカデミック・ライティングのためのパラフレーズ演習』（スリーエーネットワーク）		

科目名		翻訳の日本語	国際科	2 年通年
講師		吉村 萌	講義	金曜 2 限
実務経験のある教員等 による指導			4 単位 64時間	全31回
科目概要		日本語の様々な言い換え表現に触れ、状況に応じた言い換えの技術を実践的に学ぶ。		
到達目標		翻訳に関する知識、必要となるスキルを身に付け、目的や伝達手段に応じて日本語を適切に言い換えられるようになることを目指す。		
授業計画				
1	第Ⅰ部第2課 ステップ1－1			
2	第Ⅰ部第2課 ステップ1－2			
3	第Ⅰ部第2課 ステップ2－1			
4	第Ⅰ部第2課 ステップ2－2			
5	実戦練習①			
6	第Ⅰ部第4課 ステップ1－1			
7	第Ⅰ部第4課 ステップ1－2			
8	第Ⅰ部第4課 ステップ2－1			
9	第Ⅰ部第4課 ステップ2－2			
10	第Ⅰ部2・4課まとめ、復習			
11	実戦練習②			
12	第Ⅰ部第2・4課 ステップ3			
13	第Ⅱ部第2課 ステップ1－1			
14	テスト前復習			
15	定期試験FB			
16	活動			
17	第Ⅱ部第2課 ステップ1－2			
18	第Ⅱ部第2課 ステップ2－1			
19	第Ⅱ部第2課 ステップ2－2			
20	実戦練習③			
21	第Ⅱ部第4課 ステップ1－1			
22	第Ⅱ部第4課 ステップ1－2			
23	第Ⅱ部第4課 ステップ2－1			
24	第Ⅱ部第4課 ステップ2－2			
25	第Ⅱ部2・4課まとめ、復習			
26	実戦練習④			
27	第Ⅱ部第2・4課 ステップ3			
28	テスト前復習			
29	定期試験FB			
30	活動			
31	活動			
成績評価方法		前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100%（60%以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。		
教科書名		『アカデミック・ライティングのためのパラフレーズ演習』（スリーエーネットワーク）		